

広告

跳躍

「追憶」は映画のタイトルか五十年石狩の河畔には群衆と歓声その鮭波まつりが始まった跳ねる北の魚五千年からの連続性彼方からハオイの地唄^{※1} オースコイ オースコイト金谷のオドー^{※2}はピロッド地のほっかむりが似合うホリカモイの曳網場は漁師の嗜れ舞台また歓声だ大漁を告げている揚げる網べつとりパルプスラッジサケは母なる石狩川に愛想を尽かしたそのかみに栄えし町の石狩はものひそげきに行きもとほろう(齋藤茂吉)昭和初期よりさらに酷かったまつりは途絶え十五回で忘却への旅立ち石狩の鮭の魚飯に名残あり(天谷句仏)1979年まつりは復活した川も漁師も町も変わった僅か九年での目覚め海には大きな定置網船も変わった漁港もできた若い者も戻ったサケは母川の匂いを忘れることはなかった今年50回目のまつり跳躍はさらに(市長)

※1 地元で伝わる漁労歌
 ※2 お父さんの意